

## 要旨

本研究は海拔0メートル地帯における現状の避難の厳しさを示したうえで、ソフト面からの解決策としてタイムラインを提示、その有効性を示すことにより今後の災害対策に寄与していく。また本文ではシミュレーション等を用いて、実際にマイタイムラインを作成していく事で実用性を明らかにしたい。海拔0メートル地帯はその土地柄水害に対する耐性が低く、一度の堤防決壊、氾濫が未曾有の大災害となってしまう恐れがある。しかしそうした環境でありながらも、スーパー堤防や高台設置などの取り組みは少なく、法整備においても県をまたぐような広域避難は行政側では連携が取れず、難しいのが現状である。そこで私はマイタイムラインの作成をもって、住民一人ひとりによる広域避難が達成できると考えた。マイタイムラインにより、従来の問題点であった時間的制約、避難先、正常性バイアス等心理現象による判断ミスを一挙に解決できると考えたためである。